

広島市植物公園

見どころ案内

サギソウ (ラン科)

日本各地の湿地に生える多年草。準絶滅危惧種。白色の翼を広げた鷺(さぎ)に似た花を咲かせます。広島市植物公園のシンボルマークになっています。

フウラン (ラン科)

本州より南に自生する着生植物で絶滅危惧種に指定されています。白色の花から良い香りを漂わせています。

カカオ (アオイ科)

熱帯アメリカ原産。幹に多くの淡い赤紫色の花を直接つけています。果実はチョコレートの原料。

サガリバナ (サガリバナ科)

熱帯・亜熱帯に分布する常緑樹。日本には奄美大島などの川沿いに自生。花卉は白～淡紅色で放香を放つ。主に夜に咲き、翌朝には落花します。

ハス (ハス科)

インド原産多年生水生植物。白や桃の花が咲いています。環境の変化により個体数が減少しています。

レンゲショウマ (キンポウゲ科)

太平洋岸の山深い湿り気ある場所に自生する1属1種の多年草。絶滅危惧種に指定。薄紫色の上品な花をぶら下げています。

タカネマツムシソウ (マツムシソウ科)

本州、四国の高山に自生。別名をミヤママツムシソウ。この季節に紫色の可愛い花をつける。

ナツズイセン (ヒガンバナ科)

地下に鱗茎をもつ中国産の帰化植物。ラッパ状の桃色の花を咲かせています。既に葉はなく、種子はできません。

タイタンビスカス (アオイ科)

アメリカフヨウとモミジアオイの交配種。鮮やかな赤、白、桃色の大きな花が咲いています。暑さに強く、真夏にも咲き続けます。

変化アサガオ

展示会(23日～)よりも早く咲きだした鉢を出しています。お楽しみください。

ノアサガオのカーテン (ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

